

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	階上町立道仏小学校
授業者	市川 美耶子

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

海と親しむ・海を知る（サビキ釣り体験）

#### 1-2. 学年

5年生

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 社会科

#### 1-4. 単元の概要

1 釣り体験事前指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・釣り竿の仕組みを知る。</li><li>・仕掛け作りと竿の基本的な操作を知る。</li></ul>
2 釣り体験	<ul style="list-style-type: none"><li>・餌の付け方や竿の動かし方を知る。</li><li>・地域の方に教えていただきながら釣り体験をする。</li><li>・漁港のマナーについて知り、実践する。</li></ul>
3 釣り体験のまとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>・生産者の苦労や工夫、努力を知る。</li><li>・漁港の働きについて考える。</li></ul>

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

水産物がどのように生産され自分たちのもたらされてくるのか、実際に釣りを体験することを通して生産者の工夫や努力、苦労について考え、自分たちの地域の財産である海の豊かさを感じ、水産資源を守っていかうとする心を育てる。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

知識・技能	釣り体験を通して、釣りの仕掛けや竿の仕組み、基本的な釣り方などを理解することができる。
思考力・判断力・表現力	釣り体験を通して感じたことや分かったことを、水産業と関連させながら考えることができる。

1-7. 単元の展開（全5時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>釣り体験事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釣り竿に釣り糸を通し、仕掛けを作る。</li> <li>・釣り竿の扱い方を知り、練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釣り糸の通し方、サビキ釣りのしかけについて説明する。</li> <li>・リールの巻き方などの基本操作を説明し、実践させる。</li> </ul> <p>釣りの仕掛けや竿の仕組み、基本的な動かし方を理解している。【知・技】</p>
2 ～ 4	<p>釣り体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・餌の付け方を知る。</li> <li>・水中での竿の動かし方を知る。</li> <li>・漁港での釣りのマナーを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・餌の付け方、竿の動かし方について地域の方に説明してもらう。</li> <li>・どうしたら魚が釣れるか工夫を考えさせる。</li> <li>・ごみの持ち帰りや後始末など、釣り場のマナーを指導する。</li> </ul> <p>工夫しながら釣り体験を行っている。【思・判・表】</p>
5	<p>釣り体験まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の工夫や努力、苦勞を知る。</li> <li>・漁港のはたらきについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の水産業の学習と関連させる。</li> <li>・釣り体験の難しさから、様々な漁法の工夫や、生産を安定させるための工夫を考えさせる。</li> <li>・漁港で働いていた人たちは何をしていたのか考えさせる。</li> </ul> <p>釣り体験で学んだことや感じたことをもとに、生産者の工夫や努力について考えている。【思・判・表】</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

釣り体験で感じたことや学んだことをもとに、水産業に関わる生産者の苦労や様々な漁法の工夫、努力を考えることができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 釣り体験について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか釣れなかった。</li> <li>・場所を変えたり竿の動かし方を変えたりした。</li> <li>・船だとたくさん釣れるのだろうか。</li> <li>・水産業で働く人たちはどうしてたくさん生産できるのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか釣れなかったことを思い出させ、なぜ水産業に携わる人たちは大量の魚を生産できるのか疑問をもたせる。</li> </ul>
<p>2 いろいろな漁法やその特徴を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠洋漁業や巻き網漁業などがある。</li> <li>・沖合漁業では、複数の船で魚を捕っている。</li> <li>・漁に出かけない養殖漁業や栽培漁業も行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな漁法があることに気づかせる。</li> <li>・それぞれの漁法の特徴を考えさせる。</li> </ul>
<p>3 それぞれの漁法を行う人たちの苦労や工夫について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天候によって生産できない時もある。</li> <li>・レーダーを使って魚の位置を把握している。</li> <li>・漁船同士が協力してチームのように魚を捕っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者が様々な工夫や努力をしていることに気付かせる。</li> <li>・釣り体験と同様に、苦労があることも考えさせる。</li> </ul>
<p>4 自分たちの釣り体験と比較しながら、生産者の努力や工夫があつて消費者のもとに届いていることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の努力や工夫があつて水産物を食べることができていることに気付かせ、これからの水産資源との関わりを意識させる。</li> </ul> <p>釣り体験で学んだことや感じたことをもとに、生産者の工夫や努力について考えている。【思・判・表】</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

- 海が身近な地域ではあるが、釣り体験をしたことがない児童も多く、体験を楽しみにしていたり興味をもって取り組んだりする様子が見られた。
  - 地域の方の協力も厚く、少人数のグループで安全に配慮しながら充実した体験を行うことができた。
  - 社会科の水産業の単元と関連させて、生産者の立場にたって考えることにつなげる事ができた。
  - 釣り体験の最中に、漁港で働く人の姿を見ることができたため漁港の働きについても考えるきっかけとなった。
- △ほとんどの児童が魚を釣り上げることができなかつたため、釣り体験の楽しさや、自分で釣った魚を食べる喜びなどを味わわせることができなかった。

### 4. 今後の課題

- ・釣り体験を行う時期や、潮の状況などをよく吟味して日程を調整する必要があると感じた。準備などは大変になるが、釣れなかつた場合のために予備日を設定するなどの工夫が必要だと感じた。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。